

地方復員殘務處理部長殿  
舞岡殘務第一六〇號の二三

昭和二十五年三月二十日

舞岡地方復員殘務處理部長

第二復員局殘務處理部長殿

浮島丸に關する經過報告

標記の件別紙の通り報告致します。

訂正

昭和二十五年三月二十日舞復殘務第一六〇號  
三月二十二日、浮島丸に關する經過報告中別紙七項  
三月二十六日十六日とあるを三月十四日に訂正する。

(終)

復員殘務處理部長  
復員殘務處理部長  
地方復員殘務處理部長

下業多飛

三月二十日送付

(終)

4031  
3-2

(別紙)

浮島丸事件に關する其の後の経過は左の通りであります

一 三月二日朝鮮解放運動救護會、浮島支那支隊、張學大外二名來部し左の通り望がありました

(イ) 乘船者名簿の閲覧

(ロ) 當時の浮島丸船長の氏名、住所

(ハ) 慰靈祭を行う場合、經濟的後援

右に對し當部では(イ)、(ロ)は一應二復に取次ぐが(ハ)項は不可能であると思ひました

二 三月三日午後大韓民國居留民團、舞臺支部、團長林鍾坤外一名來部左の通り中人がありました

(イ) 浮島丸の件について朝鮮側との交渉相手は居留民團一本とされない

(ロ) 此の問題に關して金錢を要求するか如きは本部台の案である

(註) 一、二項に關しては二復とも連絡し今後は民團を正式交渉相手とするつもりであります

三 三月七日C.I.O.に對し二復よりH.Q.への説明寫を添付して舊舞團、平團の假埋葬遺体發掘が許可になるよう要請しました

四 三月六日舞臺市長に對し浮島丸事件を説明し市長はよく了承しました

が、舞臺市は將來日韓貿易の基地であり日韓親善の見地から慰靈祭等行はれる場合は陰ながら何分の後援をしたい意圖であることが語りました

五 三月八日舞臺市長、東本部長に對し浮島丸事件について説明したが東部長もよく了承し協力及び今後の情報交換を約しました

其の際左の情報を得た (イ) 表桃植 (二月一日要請書提出者) は自分が代表となつておれば日本側に對し無余な要求をするようなことはしないからとて懸々買つて出た

(ロ) 二月一日要請の目的の一つは、舞臺在住朝鮮人が歸國した場合は浮島丸遺難者に對し何もしないでやまなかつたこと非難されないようにする為である

(ハ) 張學大 (三月二日來訪者) は共產黨員である

六 三月十三日慰靈祭行や、サルスベリシは浮島丸沈没現場で引揚工祭及び遺難者

七 三月十日張學大より電話にて乘船者名簿の閲覧について再び照會し

て来たが當方は「直接二復に照會されたい、名簿は當部にはない。但し二復では韓國正式代表の外は交際の相手にしない意圖である」と應答した。

八三月十九日、海軍東營祭署にて調査の結果、浦入には存島丸遭難者を埋葬した事實はないことが判明しきまつた。

九三月十八日、海軍OIC隊長より存島丸遺体揚収發掘の要請に對し認可した旨通知がありました。

十、三月二十日、山代部長、海軍OIC隊長を訪問し存島丸關係につき盡力を謝すると共に今後の支援を要請しました。

OIC隊長は左の通り語りました。

「存島丸關係遺体の収容は既に日H.Q.が承認していることであるから問題はない。

「外部からの妨害がなければ援助するから連絡されたい。

「海軍隊内遺体發掘に關しては直接エンジニア、スクール隊長に要請されたい。

「農平團内遺体發掘に關しては援護局長の承認を得れば差支えない。」

今後の處理方針

(イ) 存島丸殘存遺体

飯野サルベージの作業進捗に伴つて逐次埋葬して行くが完了迄相當長引くものと思はれます。

(ロ) 假埋葬遺体

予算確定次第米エンジニア、スクール隊長及び海軍援護局長の許可を得て海軍隊及び農平團共各一日で發掘作業が終了するよう飛島組に請負はせる計畫であります。